

第29回 旧RD最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 令和元年6月10日(月) 19:00~21:00

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■主な質疑・ご意見

1. 前回の開催結果の確認について

○北尾団地側の土地の貸付契約について、第28回連絡協議会において契約書はあるのか等の質問があったことから、契約内容を説明したうえで、契約書の写しを回覧しました。

◇50センチの覆土を行ったため地上で子供が直接ごみを触れることなく安全であるとあるが、子供が遊ぶ環境で地下50センチ以下がごみでもいいのか。教育施設の広場の地下の規定はあるのか。

⇒環境基準には二通りあって、どういう経路で人間に害を及ぼすかで判断します。一つは水経路でもう一つは空気経路があります。地表から巻き上げられる埃を吸って問題があるかどうかは、ごみが地表面に露出している場合、そのごみの含有量の濃度によります。現地では覆土することでごみからの埃を吸う事がないので問題はないという理解ですと回答しました。

2. 工事等の進捗状況について

◇5ページの法面整形および覆土の件についてだが、防草シートは台風などで捲れ草が生える。年4回位の草刈りでかろうじて状態を保っている。シートの施工は現場に合わないかなと思う。

⇒現計画では、防草シートを施工する計画となっておりますが、北尾団地は先行させて施工させていただき5年経過し、台風等の影響で防草シートの施工について見直すところもあり、工事が終われば維持管理する必要もありますので、もう少し時間をかけて検討させていただきたいと回答しました。

◇このRD問題が発して十数年たっていると思うが、資料13ページの掘削した廃棄物の写真で、未だにこういうもの(ドラム缶)が出てくることに驚いている。こういう不燃物はどのように処理されるのか。

⇒ドラム缶は不燃物ではなく高温で焼却できる業者で焼却処理しています。

3. 平成30年度第4回モニタリング調査結果について

◇過去のグラフを見てみると、数値がちょっと上がってその後おさまっている井戸があるが、そういう現象がそれぞれ説明ができるのか。

⇒場合によっては、明確に原因を解明できない場合もありますが、その都度、考察をさせていただいていますと回答しました。

◇平成22年度に測る方法を変えたので水銀や鉛が出なくなった。(数値が下がった)

⇒より正確な測定方法に改めたと理解してほしいと回答しました。

◇揚水ピットでのダイオキシンの測定結果について、0.69pg-TEQ/L という結果が出ており、基準値よりは低いものの、揚水ピットは水があちこちから集まってくるので、もっと濃い地点がどこかにあるのではないかと懸念している。

⇒揚水ピットは、通常の井戸のように土の間を通過して濾された地下水とは違い、排水管を通して集められた水が溜まる構造になっています。過去に17pg-TEQ/L を測定したこともありましたが、これは工事により土混じりの水が排水管に流れ込んだことにより土の粒子を含んだ状態で測定されたと思われると回答しました。

4. 二次対策工事後のモニタリング調査計画について

◇資料2の2ページにモニタリングの目的として①と②がある。①は住民側と県が結んだ協定に基づくものである。協定では、二次対策工事の有効性を確認し、有効ではないと判断された場合には、県は対策工事において掘削しなかった部分の掘削を含めて必要な追加対策を検討し実施すると規定されている。一方、②は特定支障除去等事業計画に基づくものであり、国からお金をもらって行う事業の有効性の確認である。

②は、国が決められているのなら絶対基準で構わないと思う。ただ、住民側はこの処分場によって環境が悪化することがもうあり得ないという状況をつくってほしいという思いで協定を結んでいるので、①は絶対基準ではなく相対基準にする必要があると思う。

水質の調査で、処分場の影響を受けていない水が処分場を通過して下流に到達した際に同様の水質であるならば、この処分場の影響はないと言える。そこで、処分場の上流と下流で、例えば電気伝導度の値を比較すると、ほぼ0から70~80まで上昇している。つまり、処分場の下を通る間に地下水の水質は悪化していると言える。この工事によってこの差がなくなると、この処分場の影響はまだあると判断せざるを得ない。処分場の影響がある限り住民側は追加工事を要求することができる、ということで間違いはないか。

⇒工事の目的は支障となるものを除去して生活環境を保全していくことで、環境基準による絶対評価となりますが、バックグラウンドとの比較という観点も重要とされており、今後、アドバイザーの先生方にもしっかりとご相談しながらまた改めてお示しさせていただきたいと回答しました。

◇4ページの調査①：水位調査の右側の図であるが、揚水ピットはポンプで水を汲み上げており、ポンプ近くであれば汲み上げによる水位の影響が大きく、離れば少ないだろうと思う。この水位の差を測る際、ポンプをどれだけの期間停止するのか。

⇒具体的なポンプを止める時期等については検討中です。調査開始前までにはしっかり検討させていただきますと回答しました。

5. その他

意見なし。